

# 事 務 事 業 評 価

平成 25 年度

担当課 しまばら観光おもてなし課

基本事項	事務事業名	島原温泉ゆとろぎの湯指定管理料					整理番号	1603
	根拠法令等	地方自治法第244条、第244条の2、条例				実施を義務付ける規定	○あり ●なし	
	関連する市勢振興計画の基本計画	章 第4章 安全・安心と安らぎの環境を整える	予科目	7; 款 1; 項 3; 目	○継続 ●新規			
		節 第3節 住環境の整備	事業区分	市民サービス事業				
事業の目的・実施状況等	事業の背景 (課題、市民の要望等)	市民の健康増進、観光振興及び中心市街地の活性化を図るため、平成20年4月に島原温泉ゆとろぎの湯をオープンした。公の公衆浴場として市民の平等な利用の確保、円滑な運営及び施設設備の維持管理を行い、民間の能力を活用した事業運営を行うため民間事業者による指定管理を行った。					計画期間	始期 平成 23 年から 終期 平成 27 年まで
	事業の対象 (誰に・何に対して) 目的 (どのような状態にしたいのか)	市民憩いの公衆浴場として、利用者の意見や要望を反映させた利用者本位の運営を行うとともに、効率的な事業運営と環境負荷の低減と施設の保全に努め運営費の縮減に努める。						
	目的達成のための 具体的手段・方法	温浴施設だけでなく、駐車場、足湯の3つの施設管理を合理的に行い、管理運営に関する経費の削減に努めるとともに利用者の拡大を図り、地域のサービス向上と健康増進に寄与する。 ・歩行湯の利用者増対策としてインストラクターの活用 ・テレビ、ラジオ、雑誌等によるPR ・夏季の時間延長 ・お盆、正月の定休日営業 ・足つぼマッサージ ・観光施設等への割引券配布 ・イベント、スポーツ大会の協賛等						
	成果指標 (目的達成度を図るものさし)	名 称 等 ( 内 容 )		単 位	23 年度	24 年度	25 年度	
		① 利用者の拡大を図る H23→目標240人 実績258人 H24→目標245人 実績257人 H25→目標250人	目標 実績 達成率	人	240	245	250	
	②	目標 実績 達成率	%	107.5	104.9	0.0		
活動指標 (目的達成のために 行った活動実績)	①自主事業計画 ・歩行湯のインストラクター ・季節の薬草湯(年4回) ・旅行会社とのタイアップ企画(年3回) ・スポーツ、イベントへの誘客(年4回) ・地元客の増加対策(がんばスタンプでの入浴)(年中)	目標 実績 目標 実績						
事業費等の推移	年度		21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度
	区分		実績値	実績値	実績値	実績値	予算	計画
	① 直接事業費(千円)		13,000	10,000	12,000	11,000	10,000	10,000
	財源内訳	国 県 支 出 金						
		地 方 債						
		そ の 他						
	一 般 財 源		13,000	10,000	12,000	11,000	10,000	10,000
② 従事職員給与費 b1×b2		2,722	1,434	724	728	721		
従事職員数(人) b1		0.38	0.20	0.10	0.10	0.10	0.10	
職員平均人件費 b2		7,162	7,168	7,236	7,277	7,213		
事業費合計 ① + ②		15,722	11,434	12,724	11,728	10,721	10,000	

【1次評価】

事務事業の評価項目と評価の視点		評価内容（判断理由、課題等）	
必要性	①社会環境の変化や市民ニーズに照らして、事業の必要性が薄れていないか	A=薄れていない B=一部薄れている C=薄れている 平成20年のオープン以来入場者は増えている。	判定 A
	②事業を民間(NPO、市民、ボランティア等)に実施させることはできないか	A=市以外での実施は困難 B=一部民間での実施可能 C=民間での実施可能 当初から指定管理にしている。	-
	③対象者は事業目的に見合っているか。また、事業を取り巻く時代変化や制度改正など、環境の変化に適応しているか	A=概ね適切 B=改善の余地あり C=見直しが必要 民間による指定管理を行うことで市民のニーズを的確にとらえ民間レベルでの対応が可能である。	A
有効性	④成果指標の達成に十分寄与する手法がとられており、結果として目的が達成されているか (成果指標と連動させること A=達成 B=概ね達成 C=未達成)	A=達成している B=一部達成している C=あまり達成していない 入場者は毎年増えており、前年比100%超である。	A
	⑤事業効果をさらにあげる余地はないか	A=効果向上の余地はない B=一部検討の余地がある C=検討の余地がある 事業開始から5年を経過し今後は修繕等が増えるの見込まれ、日頃からの適正な施設管理に努めて費用削減を図る必要がある。	B
効率性	⑥事業実施により、費用や業務量に見合った活動結果が得られているか (活動指標と連動させること A=達成 B=一部未達成 C=未達成)	A=得られている B=一部得られている C=見直しが必要 市直営による施設管理費は現在の指定管理による経費以上がかかるものとする。	B
	⑦必要な活動結果がより少ない費用や業務量で得られる手法に代えられないか	A=現行以上の手法はない B=一部検討の余地がある C=検討の余地がある 民間の努力による運営を今より以上に期待する。	B
	⑧組織間の連携や役割分担に改善の余地はないか	A=改善の余地はない B=一部改善の余地がある C=改善の余地がある 温泉給湯事業の所管として観光ジオパークで担当している。	A
公平性	⑨事業の対象者全員に偏りなくサービスが提供されているか 全体コストから見て受益者の負担割合は適切か 使用料等の見直しの余地はないか	A=概ね適切 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要 新しい入浴施設や入浴料が安い他の施設へ流れる傾向があるため、特に一般客の入浴料について見直しを検討する必要もある。	B
	⑩市民参加、市民協働が配慮されているか、市民参加を拡大する余地や、新たに取り組む余地がないか A=概ね適切・現状維持 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要		B
判定評点平均（3点満点） A=3、B=2、C=1、「-」=0として換算			2.44

◎ 総合自己評価（所管部署）

評価結果	<input type="radio"/> A 継続実施(特段の見直しは行わない) <input type="radio"/> B 改善・見直しを行う <input type="radio"/> B1 事業規模の拡充 <input type="radio"/> B2 事業規模の縮小 <input checked="" type="radio"/> B3 事業内容の改善・見直し <input type="radio"/> B4 その他の見直し <input type="radio"/> C 休止(隔年実施などへの変更) <input type="radio"/> D 廃止(終期の設定等を含む)	判断理由	平成20年にオープンしてから今年で5年目となり、経年とともに施設の修繕箇所が増えてきている。配管の詰まりやバルブの故障、浴室タイルの剥がれなど、これから施設全体の修繕費用が嵩むと考えられるが、日頃から適切な維持管理と経費削減に努めなければならない。
	今後の課題及び改善策、見直しの状況 (実施上の課題等) ・オープンから5年を経過し今後修繕箇所が増えるので、費用の削減対策を考えていかなければならない 特に配管の詰まりは薬剤洗浄などによる定期的な清掃で維持管理をしていく。 ・入浴者の増対策のために5周年イベント、風呂の日(26日)などにより島原温泉のPRに努める。		
・総合評価で、「見直し・改善」を行うとした場合、見直しを行う上での今後の課題や事務事業の改善・見直しを行うことにより予想される効果も併せて記載ください。 ・本年度の事業を実施するにあたり、事業内容等の見直し(改革・改善、終期の設定など)を行っている場合は、その内容についても記載ください。			

【2次評価】

総合判定	B3見直しのうえで実施 ⇒ 事業内容の改善
備考	有明の「美人の湯」同様、ゆとろぎの湯でも市外料金を設定し、市の負担軽減を図れないか。また、回数券のほか定期利用券の発行など利用者の利便性を高めるなど、料金収入の増のための方策を民間感覚で検討すべき。

【3次評価】

総合判定	
備考	

評価結果を踏まえた次年度予算への反映状況		
① <input type="checkbox"/> 事業費縮減(事業の見直し)	③ <input type="checkbox"/> 成果向上に向けた事業費増加	↓ 予算措置額の増減
② <input type="checkbox"/> 民間委託等によるコストの縮減	④ <input checked="" type="checkbox"/> 事務の効率化による現状維持(事業内容の拡充)	3,000 (千円)